

Vol. 2

大町岳陽高等学校

地域探究プロジェクト2021

信濃大町100人衆 インタビュー

～高校生の創った地域人紹介ブックレット～

Vol. 2

大町岳陽高等学校

地域探究プロジェクト2021

信濃大町100人衆 インタビュー

～高校生の創った地域人紹介ブックレット～



皆さんが暮らしている大町市には、いったい何があり、
どのような魅力があるのでしょうか。
かつて旧大町村の有力者としてその手腕を振るった
「大町十人衆」がいたように、現在の大町市には知らないだけで
「地域の担い手」＝面白い“地域人”がたくさんいます。
そこで、高校生の私たちが大町市内外へ紹介したい“地域人”である
「信濃大町100人衆」取材することで、
大町市の魅力をあぶり出すプロジェクトを開始します。
めざせ100人！ そして、この100人衆の皆さんとともに、
これからの大町のありたい姿を描き、お互いに繋がり合い
協働する関係を創り出すことが目標です。

このブックレットは、まちの魅力づくり中心市街地の活性化のため、文部科学省「総合的な探究の時間」カリキュラムの一環で、大町岳陽高等学校2年生が作成しました。





官民連携まちなか再生推進事業

国土交通省により令和2年度に創設された本事業は、官民の多様な人材が参画する「エリアプラットフォームの構築」や、まちなかの将来像を明確にした「未来ビジョン等の策定」、民間まちづくり活動における先進団体が実施する「普及啓発事業」を支援することにより、官民の人材が集うコミュニティの活性化と官民連携による持続可能なまちづくりを促進する事業です。

大町市では、本事業の採択を受け、信州地域デザインセンター(UDC信州)の支援を得ながら、中心市街地の再生に向けて大町市の将来像を描く「未来ビジョンの策定」と、それにに向けた公民学が連携する「エリアプラットフォームの構築」を進めています。

信濃大町100人衆会議

インタビューで紹介した“地域人”だけでなく、中心市街地活性化のために、たくさんの“地域人”の意見を伺い、アクションを起こしていくプラットフォームとして「信濃大町100人衆会議」を創立します。官民が連携して、さまざまな立場の“地域人”に参画いただき、自分事として楽しみながら、中心市街地の再生を目指します。





INTERVIEW INDEX



- | | |
|---|--------------------------------------|
| 21 立田屋／原 能成さん 5P | 30 森の休息 セラピー／栗林 佐千子さん 14P |
| 22 竹のや旅館／犬飼 凱雄さん 6P | 31 やまびこ祭り実行委員会／菅沢 和博さん 15P |
| 23 botta curry／矢野 智久さん 7P | 32 藤長菓子舗／高橋 民恵さん 16P |
| 24 ai coffee／荒居 愛さん 8P | 33 塩の道ちょうじや／黒川 恵理子さん 17P |
| 25 Slackline team CROSSLINE／菅沢 豊さん 9P | 34 ぐるったネットワーク大町／鈴木 幸佳さん 18P |
| 26 奥村印刷所／奥村 健仁さん 10P | 35 北アルプス国際芸術祭実行委員会／田中 久登さん 19P |
| 27 イソガイスタジオ／磯貝 邦夫さん 11P | 36 喜楽堂インテリア工房／西澤 和保さん 20P |
| 28 ジャパンディスカバリーセンター Omachi／川上 涼太さん 12P | 37 木匠安曇野工房／千國 由美さん 21P |
| 29 ビストロカフェ ミルフィーユ／圓尾 正さん 13P | |

信濃大町100人衆MAP



※ 3 23 はキッチンカーのため、場所は不特定です

プロジェクト2020で紹介された方々

- | | | |
|----------------------|-------------------------|---------------------------|
| 1 俵屋飯店／北澤 恵一郎さん | 7 麻倉アート&クラフト／渡部 泰輔さん | 14 ハングリーボックスYUKI／手塚 美登利さん |
| 2 大町ぶぶ／松本 昌也さん | 8 折弁／荒川 松子さん | 15 モランボン／中村 久人さん |
| 3 Five5stars／川上 誠二さん | 9 北福島／福島 辰郎さん | 16 ヒマラヤンシェルパ／ラマ・ゲルさん |
| 4 星のキッチン／川上 怜霞さん | 10 ドットベース大町／屋田 翔太さん | 17 創舎わちがい／渡邊 充子さん |
| 5 工房よってきまじょ／平林 康子さん | 11 がんばりやさん／松澤 重夫さん | 18 相陶窯／相澤 正樹さん |
| 6 北アルプスブルワリー／成沢 隼人さん | 12 いーずら大町特産館／飯島 志津さん | 19 UNITE COFFEE／松浦 周平さん |
| | 13 まちなかウォーキングの会／塩込 博仁さん | 20 庵寓舎を考える会／小田 時男さん |

INFORMATION 凡例：住 住所 ☎ 電話番号 🕒 営業時間 🛌 定休日
HP ホームページ ✉ メールアドレス

思いが詰まった昔ながらの愛されケーキ

信濃大町100人衆 21人目

株式会社 立田屋 代表取締役社長

は ら よ し し げ

原 能成さん

美味しいケーキが沢山並ぶ店内

Q. 仕事で1番頑張っていることは何ですか

お客様に喜んでもらえるケーキを作ることを頑張っています。

Q. 仕事をしているなかで1番大変だったことは何ですか

新しい商品を開発することです。1回ではうまくいかないので何回も何十回もやっていく中で、自分でやっていることなのですが、味が分からなくなってしまうたり、本当にお客様が喜んでくれる味なのかなど、やればやるほど負のループになっていきだんだんと難しくなってしまうことが大変です。

Q. こだわっていることは何ですか

100パーセントのバターを使い、生クリームは植物性ではなく動物性の生クリームだけを使っていることです。動物性の生クリームは植物性に比べて体に良いんです。ケーキを食べてもらう上でも体に良いものを食べてもらいたいので、動物性のものだけを使っています。



信濃大町スイーツプロジェクトのために作られたケーキ

Q. 2031年の目標は何ですか

10年後は大町がどうなっているか分かりませんが、商店街のお店もどんどん減っているのでそこが不安だなと思う部分もありますが、頑張ってここを盛り上げられればいいかなと思っています。

Q. 生クリームが甘すぎず食べやすいのですがこだわりはありますか

特別な生クリームを使っています。農林水産大臣賞を受賞した生クリームで、他の業者さんでは絶対作れない生クリームと言われています。本当にクリームの中でも1番いいクリームを使っており、これも動物性オンリーなんです。しつこくなく、甘さも控えられており、濃厚さが出て、さっぱりというような組み合わせた感じの使いやすい美味しいクリームになっています。

Q. この仕事をするなかで、楽しかったり、嬉しかったことは何ですか

お客様にすごく美味しかったよと言ってもらえたことです。都会から来た方にすごく美味しかったと言われたときがすごく嬉しくて。何故かというと都会の方がケーキのクオリティがすごい高く、レベルも高い中で、それでもこの田舎の昔ながらのケーキが美味しいって言って貰えたことがすごく嬉しいです。

Q. おすすめのメニューを教えてください

おすすめのメニューは、ショートケーキと、リーフパイとアーモンドクッキーが1番お客様に愛されているお菓子かなと思っています。



工夫が沢山のケーキ



Profile

原 能成さん

1989年大町市大町生まれ。山梨学院大学卒業後、技術向上のため、栃木、東京、大阪にて勉強をし、今に至る。立田屋の7代目。

INFORMATION

立田屋（ケーキ&カフェ）

住 大町市大町2561-1（下仲町）

☎ 0261-22-0011

営 8:00~18:30 日曜8:30~18:00

休 水曜

HP <https://www.cowbell.ne.jp>

MEMO

私が思っていた以上にケーキへの工夫が沢山ありビックリしました。生クリームやケーキのデザイン、氷の作り、など改めて凄いと思いました。私はケーキが好きなので沢山ケーキのお話ができてよかったです。
(取材：曾根原 真夕)

どんな人にも！
大町の憩いの場

信濃大町100人衆 22人目

竹のや旅館

いぬか いよし お

犬飼 凱雄さん

メイン「竹のや」の看板が目立つ外観

Q. 他の旅館と比べて、竹のやさんのいいところは何ですか

J R大町駅から近いので、最終電車で来ても宿泊が可能で、立山黒部アルペンルートや、白馬、東京方面に行く駅前のバス乗り場にも近いのでとても便利です。

Q. 宿泊理由は何が一番多いですか

一番は観光が多いです。それからビジネスだったり、結婚式や葬式、お見舞、通院などの理由で泊まりに来る人がいます。

Q. 昔から変わらないこだわりはありますか

昔から変わらないことは、集客の間口を広く取ることです。例えば、インターネットの集客では、楽天やじゃらん、Booking.comなど、ほとんどのサイトを使っています。インターネット集客をしていると、周辺だけでなく、海外など遠方からも来てくれるのでこれからも続けていきたいです。

Q. 県内だけでなく県外からも泊まりに来る人は多いですか

そうですね。ほとんどのお客様が県外からのお客様で、県内は10%ぐらいです。去年も今年もコロナの影響で海外からの宿泊はないですが、通常は、海外からのお客様もかなり多いです。

Q. 2031年の目標は何ですか

主にアジア方面の国に小型ホテルを何軒か作って、そこを営業拠点にして、その国の人達を、大町を中心とした大糸線沿い周辺にお客様として大勢呼び込みたいです。

Q. 働くなかで苦労したことはありますか

全て苦労です。(笑) それは冗談で、働くなかで苦労したことは、できるだけお客様に満足していただけるように、お客様の気持ちに沿う様に動いているんですが、多少お客様のニーズと合わないことがあります。そういったお客様のニーズにうまく合わせる事が一番難しいです。1番は翌日に差し障りのないよう休んで頂けるよう心がけています。

Q. 旅館名「竹のや」に何か由来はあるんですか

これはわかりません。(笑) 何十年前かに竹乃屋で始められて、そのあと新しくなったらいいんですが、外の看板も私が直して、一番簡単に「竹」にひらがなの「のや」に変えました。それで近いうちに名前を変えます。「竹のや」というのは、ほんとと単なる名前だけです。「大町ホテルくろべ(竹のや旅館)」。このような名前に変え、グローバルに通用できるよう変えていこうと思っています。



落ち着いた雰囲気のある和室



ライトアップされた竹のや旅館入口



Profile

犬飼 凱雄さん

1942年松本市生まれ。東京教育大学(現 筑波大学)卒業。白馬乗鞍スキー場でペンションドライブインを開業。現在白馬に3軒、大町に2軒の小型ホテルを経営。オーストラリアと台湾に営業所がある。

INFORMATION

竹のや旅館 (宿泊施設)

住 大町市大町3059 (仁科町)

☎ 0261-22-0552

休 年中無休

HP www.oomachi-takenoya.com

MEMO

部屋数も多く、カプセルタイプルームなどを作り、個人のお客様にも、団体のお客様にも、どんな人にも泊まりやすいような、いろいろな工夫があった旅館でした。自分もそうだったように駅の近くに旅館があると知っている人が少ないと思うので、この機会に竹のや旅館のことを知ってくれる人が増えてほしいです。(取材：倉本 彪雅)

〈撮影：今野 晏奈〉

長野県に美味しいカレーを届ける

ポッタカー

信濃大町100人衆 23人目

botta curry

や の と も ひ さ

矢野 智久さん

は自分から会いに行くことができるのでそこが良いところです。

Q. 大町市の魅力を教えて下さい

豊かな自然があるところですかね。長野県に初めて来たときは山に圧倒されました。綺麗な水や川も魅力的ですね。

Q. ポッタカーを開店するまでに様々な苦労があったと思いますが、1番大変だったことはなんですか

出店先の確保です。特に大町近辺はどこに出店できるのかが知らなかったし、今もわからないんですけど、それにそこにせば人が来るかっていうと全然そんなこともないし、そこが1番難しかったですね。

Q. これから社会人になる私たちへ、アドバイスをお願いします

「好きだから」「やりたかったから」「楽しそうだったから」行動の理由はこれでOK。あれこれ考えすぎて結局やらないくらいなら、動機はシンプルでもいいからとりあえず始めてみて、その後軌道修正すればいいと思っています。決めてしまえばすべては動き始めるので。

Q. 2031年の目標は何ですか

今はキッチンカーは長野県内でしか動けなくて、他県の方で出店しようとなると許可が必要なんですけど、10年後、他県に出店しやすい状況になっていたらいろいろなところを周りたいです。10年後普通に商売ができていたら御の字ですね。本当はキッチンカーも店舗も両方できるのが1番良いのですが、普通に商売できているだけでもありがたいと思っています。

(撮影：富山 嶺音)



とろとろ卵のオムカレー(チーズ)



Profile

矢野 智久さん

1975年愛知県生まれ。名古屋の百貨店に約8年勤務。POSシステムインストラクターとして全国を周り、パートナーを経て、大町市に引っ越し、「ポッタカー」の運営開始。

INFORMATION

bottacurry (洋食カレー・キッチンカー)

住 (出店場所・予定はWebで)

☎ 090-8675-5892

営 11:00~13:30, 16:00~19:00

HP <https://www.bottacurry.com/>

MEMO

矢野さんにインタビューをして、最初は小さくても人次第で変えられるということを実感しました。毎日新メニューを考えたり、どの場所で売れば売り上げが良くなるのか、など矢野さんは日々探究しているんだとお話を聞いていて思いました。ポッタカーのオムレツカレーをいただきましたが、熱々でボリュームもあって本当においしいカレーでした。お客さんを待つのではなく、自分からお客さんに会いに行くという言葉がとてもかっこよかったです。

(取材：富山 嶺音)

Q. ポッタカーを始めた経緯を教えてください

もともと洋食屋出身でカレーやハンバーグを作るのが得意でキッチンカーでカレーを売りたいと思ったのがきっかけです。カレーの仕込みにはこだわっていて、煮込む時間が約10時間かかっています。店舗での仕込みだと火をかけ続けられるんですけど、キッチンカーは帰ってから仕込みをしないといけないのでそこが大変ですね。でもそこはこだわってやりたいなと思っています。あと、キッチンカーはいろいろなところに行けるので、それがやりたかったっていうのが理由です。

Q. 「小さく始める」乗用車スタイルのDIYキッチンカーとのことですが、テーマにはどんな意味がこめられているんですか

キッチンカーに限らずですが、思い切って大きなリスクを抱えるより、小さくても思い立ったらとりあえずやってみようというタイプなんです。そこから更に上を目指すかもしれないし、上手くいかなくて辞めてしまうかもしれないけれど、やらずに後悔し続けるくらいならやって失敗の方がマシかなと。そういう意味もあって【小さく始める】です。

Q. キッチンカーで営業をする理由は何ですか

移動ができる点と元々の旅好きというか、「新鮮」を求めているからですね。あと、お店はお客さんが来るのを待っていないといけないけど、キッチンカー



熱々のカレーがすぐに食べられる

大町市に珈琲の美味しさ、 魅力を届けるCafe

信濃大町100人衆 24人目

ai coffee 代表

あら い
荒居

あい
愛さん



細い路地に建っている爽やかなお店

Q. コーヒー屋さんを始めようとした きっかけは何ですか

私は昔から旅をすることが好きでその度に色々なカフェを利用していたら、だんだんとカフェの空間が好きになっていました。10年間勤めていた会社にいたときに、もっと自分の目に見えるサービスで人を喜ばせたいという思いからカフェで働きたいと思うようになりました。私は元々コーヒーが飲める方ではなかったのですが、ある日いい香りがするなと思って入ったコーヒー屋さんに飲んでみたコーヒーが苦くなく、まるでアポロチョコのような味で、こんなコーヒーもあるんだと感動してからコーヒーに興味をもつようになり、これから自分の力でコーヒーの良さをもっとたくさんの人に知ってもらいたいと思ったのが始めたきっかけです。

Q. なぜ大町で開こうと思ったのですか

昔どこの水がどのくらい美味しくコーヒー豆のよさを引き出すことができるのかを検証をしていたことがあったので、大町に来たときに大町の水を飲んでみたら軟水で美味しくて、コーヒーが凄く滑らかになって、更にアロマも出ていいなと思ったので大町で開くことにしました。

Q. どのような人に来てもらいたいですか

やっぱりコーヒーは苦いってイメージがあったりしてなかなか飲むことができない方でもコーヒーの魅力を知ったり、感動を体感してもらいたいので老若男女問わず気軽に来てほしいです。

Q. コーヒー以外のメニューはどのようなものを考えていますか

昔チョコレート屋さんで働いていたこともあったので、カカオ豆を使ったアレンジドリンクを出したりもしていきたいなと考えています。また、チャイや抹茶など、素材にこだわった飲み物も提供しています。

Q. 経営する上でのこだわりはありますか

地球に優しいお店にしていきたいと思っているので、お客さんにマイボトルを持ってきてもらえるように強化したり、プラスチックのカップやストローをなるべく使わないようにしてゴミを増やさないようにしていきたいなと思っています。店内で使うものもステンレスなどにしていこうと思います。

Q. これから社会人になる私たちへの アドバイスをお願いします

頑張るべきところは頑張しつつ、今自分が興味のあることは目一杯やっつけていというか、あとから自分の考えとか進路とかが変わってきたとしてもそのときに自分が培ってきたものは全部線となって繋がるだろうと思うから、やってみたいことは積極的に今を大切に生きていいと思います。



荒居さんがコーヒーを注ぐ姿

Q. 2031年の目標は何ですか

10年後は店舗の拡大をしていけたらなと思います。1階はコーヒー屋さんのスペース、2階はどなたでも入れるようなコミュニティスペースにしたいくて、大町のこの周りにも色々な物とかを作ってる方々がいるのでその方々のことをもっと知ってもらえるようなスペースにしたりとか、お花屋さんとかの珍しいお花を1週間置かせてもらってコーヒー+お花の空間にしてもいいかなって感じで誰とでも交わられるようなお店に展開していきたいです。

Profile

荒居 愛さん

1983年北海道生まれ。福岡県出身。福岡の短大卒業。JR九州で10年間勤務。大町に移住後ai coffee営業開始。



INFORMATION

ai coffee (コーヒースタンド)

住 大町市大町2553-1 (下仲町)

☎ 080-3980-9316

営 月・木・金・土曜 9:00~15:00

HP <https://aicoffee.stores.jp/>

MEMO

荒居さんは元々コーヒーが飲める方ではなかったのに、ある日行ったコーヒー屋さんのおかげでこんなにもコーヒーが好きになって、今に至るまで深く関わっていることがとても素敵だなと感じました。たくさんの国に行って学んできたコーヒーの知識や情報などももっともっと聞きたいなと思いました。
(取材：上條 優)

(撮影：上條 優)



Q. なぜスラックラインを始めたのですか

始めたきっかけは、こういうのがあるよって教えてくれた人がいて、実際にやってみない？って言われて。やってみたら全然乗れなくて、なんで乗れないのかなって感じで、できないのが悔しくて、できるようになりたいと思ったのが1番初めのきっかけです。

Q. スラックラインの魅力はどのようなところですか

やっているところを見ていると簡単そうで、こんなのできるじゃんと思うけど、意外とできなくて、でも、やり続けると誰でもどんどんできるようになっていくところです。また、小さい子からお年寄りまでできて、親子が一緒になって楽しめるところが魅力です。

Q. イベントとはどのような場所で行っているのですか

国営公園でスラックラインの体験会を開いてくれないかという依頼がきたり、松本山雅のスポーツ教室から問い合わせがきてそこでお手伝いをしたりしています。いろいろな企業のイベントにスラックラインを1つのブースとして出してくれないかという依頼もきて主に県内で行っています。コロナが収まったらいろいろなところに行って、またイベントができればいいなと思っています。

Q. スラックラインの普及活動をしていてどのようなことに最もやりがいを感じますか

初めて来てくれた人が最初はできないけど何度もチャレンジして、ずっと楽しみながらやってくれていることです。最初は本当に笑っちゃうぐらいできないんですよ。それが悔しくて夢中になるんです。特に子どもがずっと楽しそうにスラックラインをやっている姿を見ると、こういう場所があってやっていてよかったと思ってます。

Q. ここの施設ではどのようなことをやっていますか

みんなが使えるように営業前にセッティングをしたり、掃除をしたり、来たる人の受付やコロナ禍なので検温などをしてもらったりしています。施設の注意事項を説明したり、スラックラインになかなか乗れない人にアドバイスをしたりもしています。チームのメンバーが5人いるので、うまくみんなで協力しながら運営しています。

Q. 2031年の目標は何ですか

目標は、健康で生き生きしていること！それから、今やっているスラックラインが誰でも1回はやったことあるっていう風になればいいなと思います。大町のみんなが1回はやったことあるよ。スラックライン知ってるよ。っていう風になったらいいなと思います。



スラックラインだけでなく楽しめる施設



Profile

菅沢 豊さん

1975年大町市生まれ。長野日本大学高等学校卒業。東京の専門学校卒業後大町へ。

INFORMATION

**Slackline team CROSSLINE
(健康&地域づくり)**

住 大町市大町3267-3 (五日町)

☎ 090-4073-2960

営 水曜 16:00~20:00 金曜 18:30~20:30
日曜 13:00~18:00

HP <https://sites.google.com/view/crosslineslack>
(instagram) @clossline-slack
(Twitter) @CROSSLINE-Slack
(facebook) @crossline.slack

MEMO

実際にスラックラインを初めて体験させてもらいました。見ている感じと実際にやってみる感じが全然違って面白いなと思いました。スラックラインは体全体でバランスをとるので、ものすごく体幹が必要なんだなと体験してみて思いました。菅沢さんのスラックラインに対する気持ちが凄く大きいなとインタビューをしてみて思いました。スラックラインが大町全体に広がったいいなと感じました。
(取材：舟木 捷)

お客様の期待に応える

昔ながらの印刷屋さん

信濃大町100人衆 26人目

株式会社 奥村印刷所 代表取締役

奥村 健仁さん

昔ながらの外観

Q. 仕事のやりがいは何ですか

チラシなどを作って、新聞折込をして、そのお店にいっぱい人が来てくれたよって喜んでもらえると、やってよかったなって思えますね。

Q. 仕事を通じて感じる大町で働くことのメリットは何ですか

メリットというわけではないですが、どんな商売もそうかもしれませんが、田舎すぎないということですかね。田舎すぎると、印刷業って仕事が減っちゃうので、商売として成り立たないんですよ。私達にとってちょうどいい大きさの町です。最近の人口減少が気になりますね。でも仕事を通じて色々な方と知り合い、仕事以外の場所で出会い距離が近くなれる。そんな循環ができることが、メリットかもしれないですね。

Q. チラシなどを作成する時に気を付けていることはありますか

文字一つでも間違えられないことです。間違えて世に出してしまったら、差

し替えなければならないかもしれないので間違えられないです。校正という作業をするのですが、ミスは出てしまいます。一番気を付けなければならないのが情報です。文字の間違えが一番いけないですね。お互いにいいものを作りたいと思っているので。

Q. デザインする上で難しいことはありますか

やっぱりお客様の思い描いた通りにしないといけないことです。お客様が思っているものを作ろうとすると時間がかかります。一回で校了になればいいですけど、お客様が納得いかずその分時間をかけると納期が厳しくなります。なので、デザインをするというのは非常にその辺のバランスが大事です。時間をかけて丁寧にやることは大事ですが、商売なので効率的にやることも大事で、バランスよくやっていくのが難しいです。

MEMO

初めてのインタビューで緊張しましたが、大町の事とデザインについて詳しく知ることができました。デザインの面では、デザインをする難しさを学びました。

インタビューの中では人口が減っていることが大きなデメリットということがわかりました。ですが、人と人との距離が近いので仕事しやすいということがわかりました。そんな大町がもっと活気溢れる商店街になればいいなと思いました。

(取材：宮崎 詠未)



落ち着いた事務所と奥村さん

Q. 2031年の目標は何ですか

大町で言えばやっぱり、山と水といういい資源があるので、上手く盛り上げてくれるような若者の登場を願いつつ、私もそこになにか協力できればと思います。

個人的には、山に登れてたらいいなと思っています。



Profile

奥村 健仁さん

1966年大町市生まれ。大学卒業後大町青年会議所、消防団に参加。奥様と共に5代目として印刷所を経営。

INFORMATION

株式会社 奥村印刷所 (印刷業)

住 大町市大町2470 (九日町)

☎ 0261-22-0205

🕒 8:00~17:30

🗓 土・日曜・祝日

自然豊かな大町から

最高の1枚を

信濃大町100人衆 27人目

有限会社イソガイスタジオ 代表取締役社長

いそが い くに お
磯貝 邦夫さん

白を基調としたスタジオ

Q. 磯貝さんが撮影する際に気をつけていることはありますか

お客さんには気分よく帰ってもらおうという精神があります。これは写真屋さんに限らずサービス業全般に言えることだと思うんですけど気分よく撮影して帰っていただきたいというのが大前提にあります。

Q. カメラマンになろうと思ったきっかけを教えてください

元々僕は経済学部に行って商社マンになりたかったんです。商社マンというのは海外に行ってお仕事をするものですが僕は高校時代は野球部に所属していて勉強はあまり好きじゃなかったんです。しかし、英語だけは中学から好きで英語を使った仕事がしたいという思いがきっかけで商社マンになりたいと思っていました。学生時代から実家に帰ってカメラマンになりたいと思ってた訳ではなくて母が病気で倒れてしまい家業を継がなくてはならなかったのが戻ってきたことがカメラマンになったきっかけです。

Q. どのような内容で写真館を利用する人が多いですか

僕も学校などお邪魔して撮影をさせて頂いてるんですが今は9割方お店での撮影です。あと、妊婦さんが自分のお腹を出して写真を撮るマタニティフォトの需要が増えています。以前はそういう文化が無かったんですけど、ここ10年くらい少子化ということもあり、そういう姿を産まれてきた子供に見せてあげたいと思うご夫婦が年々増加しています。産まれるところから亡くなるところまでの撮影、最終的にはお葬式の写真を撮ってくださいという人も今のご時世沢山いらっしゃると思います。

人生の節目節目のそういう大事なところを記録させて頂くというのが写真館の大きな仕事だと思います。

Q. ウェディングなどの外部での撮影は、どのような写真を撮るのかという打ち合わせをプランナーさんと写真館さんのどちらが行うのですか

あくまでも写真館というのはお客さんの要望を聞いてそれに対してアドバイスなどできるところはさせて頂いています。撮影の内容はお客さんがこういう写真を撮りたいとかこの場所で撮りたいという要望を皆さんに伺っています。実際そういうのは限られた時間の中で撮らないといけない場合もあるし長時間に渡って暑中撮らないといけない場合、物理的に無理だったりお嫁さんが妊婦さんの場合も多いので、そういう時はやはり体調のことを考えながらアドバイスをすることはあります。



撮影の際に使用する小道具

Q. 磯貝さんが感じる大町の魅力を教えてください

今年も第2回目の芸術祭というのが開催されるのを皆さん知ってると思うんですけど、多くの自然を愛する人が県内外から訪れる街だと思うので、身近に5分10分行ったら自然を感じられる所があるというのが最大の魅力だと思います。

Q. 2031年の目標は何ですか

僕が多分カメラマンとしては引退している年齢なんですけど生きてれば会長になっている年齢だと思います。今年、実はうちの営業所が安曇野市にできました。10年後にはあと2店舗くらいは、？写真屋さんとは限らないんですけどなんか事業展開できたらいいなと思います。



Profile

磯貝 邦夫さん

1960年大町市生まれ。大町高等学校卒業後、中央大学経済学部に進学。家業を継ぐために進路を変更し写真の専門学校に進学。

INFORMATION

有限会社イソガイスタジオ (写真館)

住 大町市大町4140 (九日町)

☎ 0261-22-0131

営 平日: 9:00~19:00

日曜祭日: 9:00~17:00

休 木曜 + 臨時休業あり

HP <http://isogai-studio.com>

MEMO

今回インタビューして時代と共に変わっていく写真館の需要に臨機応変に対応している磯貝さんの凄さを感じました。また元々写真館継ぐつもりが無かったというのに驚きましたが、そこからカメラマンになったという磯貝さんのお話を聞くことができ自分の未来が広がったと思いました。大町で生まれ育った磯貝さんが感じる大町の魅力を聞くことができすごく良かったです。

(取材: 新井 麻弥)



GoProを使って新しい大町を見てみよう

信濃大町100人衆 28人目

ジャパンディスカバリーセンター Omachi 店長

かわかみ りょうた

川上 涼太さん

開放感のある外観

Q. 川上さん自身のことや川上さんが感じる大町の魅力などをお聞かせください

静岡出身で、趣味はバイクに乗ることです。大町は静岡の環境と比べると山が多くて自然が豊かなということが大きな魅力ですね。

Q. この職業を選んだ理由は何ですか

元々GoProというアクションカメラの個人営業をしてました。カメラを使って遊ぶ場所を作るという事業で、長野に行ってくれないかということで、今はその遊ぶ場所を作る仕事ということでやっています。写真や動画などが好きでこの職業を選びました。

Q. 仕事をしていた1番やりがいがあったことや1番嬉しかったことはありますか

イベントで、オフロードキャンプミーティングを爺ガ岳スキー場で開催しました。自分と同じ趣味のオフロードバイクで山を走ってその人たちと集まってお酒を飲んで、その様子をSNSで拡散させて、それをきっかけに集まってくれた人たちが、次も来ますって言うてもらえることです。

Q. 2031年の目標は何ですか

個人的にはキャンプも元々好きなので、アウトドアギアか、ガレージブランドで自営できたらいいと思います。

Q. これから社会人になる私たちへ明るい未来像やアドバイスなどお話ください

選択肢は増やした方がいいと思います。例えば僕も高校生のとき何がやりたいっていうのはなかったんですけど、とりあえず大学に就いて写真にハマって写真館に1回就職しました。同じスタジオで同じ写真を撮るっていうのはやっぱり自分のスタイルとは違うなっていう、写真が好きでただそこはつまらないので、やっぱり選択肢は何個か、増やしといて選択の幅を広げるのがいいと思うし、大事なのはクオリティ・オブ・ライフ(QOL)で、何のために稼ぐかということで、例えばイラストやゲームをするのであればちゃんと休みがあってそのために仕事をする人もいれば仕事の内容が好きでやるという人もいて、様々な人がいるからどういうスタイルでやっていくのかという事が大切だと思うし、ほとんどの人が自分のやりたい職業に就職できているかっていったらそうではないと思う。なので自分のやりたいことが定まっているのであればそれに向かって頑張ることと、定まっていなくてもお金が貰えるところに行くことが大事だと思います。



可愛いレンタカーで大町市を走ろう



Profile

川上 涼太さん

1997年 静岡県生まれ。磐田市出身。趣味はバイクで山を走ったりお酒を飲むこと。元々GoProを使って遊ぶのが好きでGoProを使って遊ぶところを作るといって大町市に来た。最近ではサップを始めようとマイサップも購入した。

INFORMATION

ジャパンディスカバリーセンター Omachi (レンタカー・撮影機器販売)

住 大町市大町3168-9 (仁科町)

☎ 0261-85-2571

休 不定休

HP <https://japan-discovery.com/>

MEMO

初めて大町の商店街に対しての疑問を持って地域の人に話を聞いてみたけど、自分と同じでやっぱり昔に比べて人通りも少なくなったし、もっと活性化させたいなど思うことはあったんだと思った。地域人も思っていることはあるけどやっぱり個人で何かしても商店街が復興するのは難しいと思うので、商店街を少しでも良くしたい、復興したいと思う人が少なからずいると思うのでそういう人達が集まって協力してイベントとかやり方は色々あると思うから復興を目指して頑張ってもらいたいと思った。

(取材：遠藤 心)

(撮影：原田 将希 新井 麻弥 宮崎 詠未)

美味しいハンバーグ&スープカレーで 大町を元気に!

信濃大町100人衆 29人目

ビストロカフェ ミルフィーユ店長

ま る お た だ し

圓尾 正さん

オシャレな店内

Q. このお店の中でどの商品が人気がありますか

お店を大町で始めたころから、何を目玉の商品にしようかと考えたときに、やっぱり初めてお店を持つので親しみやすいお料理ということでハンバーグを選びました。16年前にお店を始めたときにスープカレーというのが非常に流行ったんですね。そのハンバーグと、スープカレーを組み合わせたらどうだろうというアイデアの中でハンバーグのバリエーションの1つとして、スープカレーのハンバーグっていうのを作りました。それが割と自分のにもお客様の評判的にもよかったので今はスープカレーと、それからハンバーグの何種類かが目玉商品になっています。

Q. 料理を作る上で、何か心がけていることはありますか

毎日同じものを作っているんですけど、ただハンバーグを作ったりそれに添えるソースを作ったりするのではなく、前回作った時よりも、もっと美味しいと思ってもらえるようにしたいっていう気持ちで作っています。

Q.2031年の目標は何ですか

お店の目標としては、10年後ともなると私も70後半になるわけですね。もし後継者という形で人が現れればそれが1番いいけど、今の時代なかなかそういう訳にもいかないかもしれない。そうやって考えるとやっぱり自分の1番やりたい仕事をして、自分のペースでやれて、それでも大町の中で価値のあるお店として認められる様なお店をやれていれば1番いいかなと思ってます。

Q. お店にはどれくらいメニューの種類がありますか

ハンバーグが5種類。それからスープカレーの種類が3種類。その他にいわゆる単品の料理と季節のおすすめ料理的なものもありますね。なのでいつも一定な料理の数ではないですね。いつも一定なのはコース料理のディナーのコースとランチのコースとかで、これは予約をお受けしてお作りするんですけどね。

Q. 以前は別の場所でやっていたということですが、ここに来た理由は何ですか

大町の懐の中に完全に入って大町の人の中でやる仕事になってくるので、高瀬川の向こうで商売やってるときと、やっぱり客層がぜんぜん違うんですね。まあもう1つは前は建物を借りて、家賃を払ってそれで商売をする形で、ここは自分の好きなようにお店を作れて、このお店は家賃は発生しないのでそういう理由もあってこちらにお店を作りました。



美味しそうなメニュー



Profile

圓尾 正さん

1952年 東京都生まれ。幼少期に松本市へ。結婚し奥さんの家がある大町市へ来てお店をオープン。大町でお店を持って今年で16年。

INFORMATION

ビストロカフェ ミルフィーユ (ビストロカフェ)

住 大町市大町3303 (仁科町)

☎ 0261-22-6898

営 11:30~14:00 (L.O)

17:30~20:00 (L.O)

休 月曜・第1火曜

MEMO

自分はミルフィーユさんのことを知りませんでしたけどインタビューをしてみて、美味しそうな料理がたくさんあり、しかも内装もオシャレでとても魅力的なお店でした。自分のように大町に住んでいない人だと知らない人が多いと思うので、たくさんの人にこのような美味しいお店を知ってもらえるようになれば、大町にいろんなところから人が来て、また商店街やいろいろな場所で活気づきよりいい町になるのかなと思いました。

(取材：原田 将希)

(撮影：宮崎 詠未 新井 麻弥)



お客様を笑顔で元気な姿に
大町のリラクゼーションの店

信濃大町100人衆 30人目

森の休息 セラピー
くりばやし

栗林 佐千子さん

植物に囲まれたお洒落な外観

Q. リラクゼーションケアのサービスを始めたきっかけは何ですか

元々、東京の方に出ていて、この仕事と出会ったのがきっかけです。子供の時から人にマッサージをしてあげることが好きで、三歳頃からやってました。好きだったということかな。

Q. 楽しかったことや嬉しかったことは何ですか

お客様が元気で来るという店ではないので、どこか辛かったり、体に何もなくても心が少し疲れていたり、そういう方が多くいらっしゃいます。そのたった15分や30分の時間であっても体が軽くなったり、元気な姿で帰っていかれるのを見ると、やはりやってよかったなと思います。

Q. 森の休息の店名の由来は何ですか

やはり、人を休ませるという仕事なので、「休息」という言葉はもう決まっていたいました。「森」の部分は森林浴とか自然から得る「気」のようなものがやはり大事だと思ったので、そこで林か草原かなど考えを巡らせていくなかで最終的に森になりました。

Q. 2031年の目標は何ですか

おそらく、歳をだいが重ねていると思うけれど、現役で働いていたいなと思います。相変わらず元気で施術ができていたらいいなと思います。今こうしてカフェ、レンタルスペースなど多目的店舗として再スタートしたので、それが軌道に乗って上手く進んでいけたらと思います。

Q. 大町で森の休息を始めた理由がありますか

以前は、東京のリラクゼーション店で働いていて、大町には家の事情で帰ってくるようになりました。そのとき、この仕事を離れようかなと思っていたのですが、よく調べてみると当時のこの辺りは、とてもお店が少なく、一度諦めようかと思いましたが、やはり好きな仕事をしたいと思い、自宅のある大町で始めてみようと思いました。

Q. 大町の魅力を教えてください

以前は、自分の故郷が好きではなく、上京をしました。20年ほど東京で暮らしてみて、東京大好きとなっていたけれど大町へ戻ってきたら景色や人の感じなどこんなにも良くて、美しかったのだと感じました。そこで、すごい再発見をしたなと思いました。あれは、一度離れてみて改めて20年という年を重ねて違う目線で見ることができたから、ここの良さというものが見えた気がしますね。

MEMO

セラピストの仕事の魅力や、栗林さんが改めて気がついた大町の魅力などを沢山聞けて嬉しかったです。お客様のために沢山こだわりのあるお店で素敵でした。実際にリラクゼーションソファ「ボディソニック」にも座らせていただいて、とても心が落ち着く空間でした。
(取材：馬場 遊楽)



落ち着いた雰囲気の飲食スペースの様子



Profile

栗林 佐千子さん

1963年長野県大町市生まれ。東京でセラピストとして働き、その後Uターンして森の休息を立ち上げ。現在20年になる。

INFORMATION

森の休息 (リラクゼーションケア)

住 大町市大町2551 (下仲町)

☎ 0261-23-7145

営 10:00~19:00

休 不定休



開放感のあるいよし空間の森の休息へ続く通り土間

(撮影：今井 涼介 小穴 ひかる)

大町の夏の大イベント やまびこ祭り

信濃大町100人衆 31人目

やまびこ祭り実行委員会 企画部会 会長
すげさわ かすひろ

菅沢 和博さん

夏の風物詩となった「やまびこ音頭」と「やまびこサンバ」

Q. ボランティアに参加することになったきっかけや菅沢さんの役割を教えてください

大町青年会議所という組織に所属していて、そのOBの方から企画部会にどうかと声をかけていただき、20年くらい前から企画部会に参加しています。青年会議所のときは、やまびこ祭りで踊らせていただきました。今は、企画部として踊りを観る方、監視する方なので、自分で踊を楽しむということはないです。ステージの役割とか出演者のこととかイベントの準備など、やまびこ祭りを楽しんでもらうための裏方として活動してきました。

Q. 今年のやまびこ祭りも中止になってしまいましたが、どう思いますか

残念ではあります。企画部会では、今年はやまびこ祭りを実施する方向で話を進めていたのですが、参加者の安全確保が困難であるということで、最終的には中止にせざるを得なくなりました。

Q. これからどのようなお祭りになってほしいですか

あなたたち若い世代の方たちがどう変えていってくれるかを期待しています。僕が始めた頃はダンスとかのイベントは少なかったのですが、今では非常に多くなりました。やまびこ祭りを盛り上げるためにもダンスの他にも色々なイベントを取り入れていきたいので、高校生たちの力を是非借りたいと思っています。

Q. 2031年の目標は何ですか

伝統ある「やまびこ祭り」ですが、今の高校生世代の力で、若い人達がたくさん参加していただける新しい祭り（フェスティバル）になってほしいです。今のお祭りのスタイルも多少継続してもらえれば嬉しいですが、若い力に期待しています。

Q. ボランティアをしていて感じたやりがいは何ですか

常にどうすれば皆さんに楽しんでもらうことができるかを考えることで精一杯なので、自分自身にとってのやりがいとかはわからないですね。強いて言うなら、皆さんにどう楽しんでもらうかを考えることがやりがいです。

Q. 2031年の私たちへのアドバイスをお願いします

10年後は皆さんおそらく社会人になっていると思います。やりたいことに向かってどうすればそれに近づくか、今できることは何かを一生懸命考えていただいて、それぞれの目標がみんな違うと思うのですが、それに向かってまずはチャレンジしてほしいですね。

Q. 10年後の大町に期待することは何ですか

大町は10年後も変化は少ないと思うんですが、若い人たちが市内で少しでも活動に参加していただいて少しでも町を盛り上げてほしいですね。私はグループネットワークなどに所属していて、色々なボランティアに参加し、たとえば市内のマラソン大会とかのボランティアに参加しています。若い人たちにも、何でもいいのですが市内の活動に参加して盛り上げて頂けると嬉しいです。10年後は10パーセントでも20パーセントでも若い人の参加が増えてほしいです。



地域の子供たちによる元気あふれる演奏



大町市民による太鼓の迫力ある演奏



Profile

菅沢 和博さん

1962年大町市生まれ。穂高商業高校卒業後、大北農業協同組合に就職。1994年から自営業の「やまと種苗園」を始める。2019年から大町やまびこ祭り実行委員会 企画部会 会長に就任。

INFORMATION

やまびこ祭り実行委員会

住 大町市大町3887 (大町市役所内)

☎ 0261-22-0420

🕒 8:30~17:15

🗓 土・日曜・祝日

MEMO

やまびこ祭りについてとても詳しく知ることができました、大町の人口は年々少なくなってきたのでこれからは自分たちが少しでも力になれるといいなと思いました。菅沢さんのお話を聞いて自分の将来についてもっとよく考えてそれを叶えられるよう努力したいと思いました。(取材：小穴 ひかる)

(撮影：小穴 ひかる)



地元の人々に長年愛され続けている

地域密着なお菓子店

信濃大町100人衆 32人目

藤長菓子舗

た か は し た み え

高橋 民恵さん

大規模にリニューアルした藤長さんの店頭

Q. 藤長さんの店名の由来を教えてください

藤長初代のおじいちゃんが、藤の花が好きだったという理由と、名前が長治だったので、藤長とつけたと聞いています。また、昔の家名が「ふじのや」という屋号だったこともあり、藤長になったそうです。

Q. 和菓子でこだわっていることはありますか

和菓子のこだわりは、やはりあんこですね。現代に合うようにだんだんと変えています。味の濃さや素材にこだわり、改良してきました。

Q. おすすめのお菓子はありますか

ふんわりチーズとプリンがとても人気でよく売れています。和菓子では、あんドーナツです。また、お土産では県外からも人気な昔懐かしい「あずみ」、続いて、しっとりした生地になちょうど良い甘さのかぼちゃあんが包まれた「かぼちゃパイ」が人気です。

Q. 2031年の目標はありますか

私の年齢でいえば、健康であることが一番です。新しいお菓子やみなさんに喜んでもらえるお菓子を開発していきたいですね。

Q. 接客をしていて大変なことはありますか

「イメージどおりのケーキじゃなかった。」と言われるときがあります。一生懸命作ったものなのでちょっとがっかりしてしまうときもあります。今の若い方はスマホを持っているので、「こういうケーキを作ってください」と言ってもってくる方もいます。それはとてもありがたかったですね。

Q. このお仕事をしていて感じるやりがいは何ですか

お休みが月に二度しかないので、体力勝負です。お客様に支えられてどうにかここまでできました。自分でも、頑張っているつもりですが、お客様に励まされている部分はとても大きかったと感じています。



他にもたくさんの商品が！

MEMO

藤長さんは長年地元の人々や県外から愛され続けているお店だけど、このインタビューを通してお菓子や接客について詳しく知ることができてよかったです。種類豊富で色々なこだわりをたくさん持つ藤長さんのお菓子がこれからも人気であり続けてほしいなと思いました。皆さんもぜひ行ってみてください！大町に住んでいても知らないことがほとんどだったので今回のインタビューで色々知れて良かったです。より大町が活性化できるようにこの記事がたくさんの人に見てもらいたいです。

(取材：降幡 咲希)



種類豊富な美味しいお菓子



Profile

高橋 民恵さん

1956年白馬村生まれ。結婚してから40年、藤長で働いている。趣味はちょっとだけ習っているアメリカンフラワー。

INFORMATION

藤長菓子舗(菓子店)

住 大町市大町2227-1(大黒町)

☎ 0261-22-0186

営 8:30~18:30(日曜は9:00~17:00)

休 不定休(月1回)

多くの方に愛される

歴史あふれる建物<塩の道ちょうじや>

信濃大町100人衆 33人目

塩の道ちょうじや 理事長

くろかわ えりこ

黒川 恵理子さん

博物館通りから見える歴史の詰まった外観

Q. 塩の道ちょうじやの名前の由来は何ですか

塩の道博物館という名前で30年営業してきたのですが、運営が変わるにあたって博物館という括りだけではなく、観光客の方も地元の方も立ち寄るような人が交流する場所にしたいと思っていました。そのような中で様々な人が力になってくれたのですが、塩の道という名前だけは残してほしいというような要望に沿い、「塩の道」は残すことにしました。また、博物館という名前を変えたくて、ちょうじやというのは屋号だし、柔らかい感じでひらがなのちょうじやという名前にしました。

Q. ちょうじやでは様々なイベントをやっていますが特に力を入れているイベントはありますか

ちょうじやになった初年度から、ちょうじや文化講座を続けています。そこでは地域に造詣のある方に講師になっていただいて、地域のことを学ぼうという講座をやっています。ぜひ若い人達にも受講してもらいたいと思っています。

Q.2031年の目標は何ですか

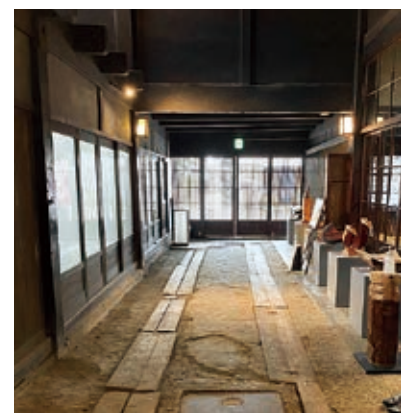
若い人たちが外に一回出ても、戻ってきて町づくりに興味を持ってもらいたいし、自分たちでいい町を作ってくれたらそれが一番いいかなと思うし、健康だったら働き続けられたらいいかなと思います。

Q. ちょうじやを運営していて一番嬉しかったことは何ですか

前の経営会社が清算になってしまったときに、新聞社の方たちが、清算になったことを記事に取り上げて応援してくださいました。その記事を見たあまり関わりのなかった方々から連絡が来て、「この建物を壊さないでほしい。」などと言っていただき、ボランティアにも来ていただきました。残してほしいと言っていたのはありがたいですし、地域の子供達が目をキラキラさせながら話を聞いてくれるのを見るのも、来ていただいたお客さんに「すごくいい建物だね。」などと言っていたことが非常に嬉しく思います。

Q. 大町市の魅力はどんなところですか

人が良いところだと思います。みんな世話好きっていうのか、とても暖かいし優しいと感じています。もちろん北アルプスというところも他にないものだからよいと思うのだけれど、こういった建物で仕事をしているということもあるので、古い建物が大町にも残っている所も魅力の一つだと思います。



塩などが運びこまれた土間



Profile

黒川 恵理子さん

1968年白馬村生まれ。音大卒業後、山梨県にて就職。その後大町市の民間CATVに13年程勤務。2013年、女性3人で一般社団法人を設立し、塩の道ちょうじやを運営。

INFORMATION

塩の道ちょうじや（資料館）

住 大町市2572（八日町）

☎ 0261-22-4018

営 9:00～16:00

休 水曜

HP <http://www.alps.or.jp/choujiya/>

MEMO

ちょうじやの貴重な話やここまでの経緯など聞けてとてもおもしろかったです。塩の道博物館のときに会社が一回清算になってしまってもみんなが残してほしいと思うほどちょうじやの建物は多くの人からとても愛されている建物なんだなと思いました。そのような歴史のあるところにインタビューに行けてとてもいい経験になったと思いました。

（取材：今井 涼介）

（撮影：今井 涼介 降幡 咲希）

食から地域のつながりを

信濃大町100人衆 34人目

NPO法人ぐるったネットワーク大町 事務局長

すずき

ゆき

か

鈴木 幸佳さん



盛りつけるお母さんたち

Q. 北アルプス国際芸術祭に料理を提供しようと思ったきっかけはありますか

前回の芸術祭では、地元のお母さんたちとYAMANBAガールズというチームを組んで、期間限定のレストランをやりました。地元のお母さんたちが作った郷土料理と、民話の語りで、季節の大町の魅力に加え、食べることへの感謝や喜びを表現しようと思ったんです。ぐるったネットワークとして多くの人たちと繋がっていたからできたことです。

Q. 前回の料理テーマは「田植えのおこひる」でしたが、なぜこのテーマで出品したのですか

爺ヶ岳の名前の由来となった大町に伝わる民話を語り、郷土料理を提供することで、大町を表現したかったからです。地元にあるものに光をあてて喜んでもらえたらすごく地元の誇りになると思いました。そして、大町の良さを知ってもらいたかったからです。

Q. 今回の芸術祭のテーマを教えてください

前回は高評価をいただいた一方で、課題となったのが、お昼ご飯が食べられない昼食難民が出たことや、お母さんたちが芸術祭のためだけに特別に料理を提供したため、それ以外のときに食べたいというニーズに応えられないということでした。そこで今回は、飲食店が作ったお料理を、お母さんたちがおもてなしをする方向で調整しています。コロナで打撃を受けている飲食店への応援にもなればいいのですが。前回と同様に地元にあるものに光を当て、お客さんに喜んでほしい、地元の人に誇りをもってほしいと思っています。

Q. 前回の芸術祭ではどのようなやりがいを感じましたか

参加したお母さんたち自身が、とてもやって良かったと言っていたことです。そして、芸術祭に訪れた多くの方々に大町は良いところだなと思っていただけたことです。当たり前だと思っていた食材やお料理を、お客さんがとても喜んでくださったことで、私たちも地元を見直すことができました。



彩り鮮やかな信濃大町食べ歩き御膳

Q. 今後、NPO法人としてNPOの取り組みをどのような人たちに発信していきたいですか

コロナの影響で在宅勤務が多くなり、自然豊かな大町で働きたいと思う人が増えてきていると思います。そこで、大町が選ばれる地域になれるように、外部に発信していきたいです。また、地元の子たちと同じくらい都会の子たちに自然体験をしてもらいたいです。豊かな自然や郷土の伝統、そして今の課題を知った上で、次の社会をつくってほしい。そのために学習旅行も積極的に受け入れたいと思います。

Q. 2031年の目標は何ですか

ちゃんと稼げる組織になりたいですね。大町に戻って来た人の就職先の選択肢になれたらいいなって思っています。



笑顔溢れるぐるったネットワーク大町の方々

Profile

鈴木 幸佳さん

1970年東京生まれ。東京の私立の高等学校卒業。地方大学卒業。大町市役所に勤務。退職後、ぐるったネットワーク大町を設立。



INFORMATION

**NPO法人ぐるったネットワーク大町
(まちづくり団体)**

住 大町市大町1559番地4 (相生町)

☎ 0261-85-0556

営 9:00~18:00

休 土、日曜

HP <http://www.grutta.net/>

MEMO

今ある地域を良くしていくための多くの努力があると感じました。芸術祭についての熱い思いを聞くことができ、この思いを多くの人に知ってもらい興味をもってもらえればいいなと思います。

(取材：小林 咲希)

〈撮影：小林 咲希 竹内 陽菜 竹村 航平〉



芸術祭で大町を明るく賑やかに!!

信濃大町100人衆 35人目

北アルプス国際芸術祭実行委員会事務局長
大町市総務部参事

た な か ひ さ と
田中 久登さん

工作中的の田中さん

Q. 北アルプス国際芸術祭の魅力は何ですか

まずは色々なアーティストが作る現代アートを見ることができることです。今回の作品は、単純な作品として楽しめるということももちろんですが、作品そのものが大町市の自然をコンセプトにした作品になっています。また、作品も単体ではなくそこから見える風景や背景を含めた芸術作品となっているので、この地域の自然や環境もイメージして楽しむことができます。そこから、大町市の良さや自然環境を再発見できることが魅力かなと思います。

Q. 芸術祭をきっかけとして大町市がどのようになってほしいと思いますか

大町の知名度が上がることで、市民が元気になることですね。芸術祭をすることで「すごく楽しかったね。」と市民が言い合えたり、街が元気になるといいなと思います。

Q. 田中さんのオススメのサイトはどこですか

どのサイトもみんなオススメですが、岳陽高校の生徒には、大町北高校ですね。一カ所で4作品を観ることができ、その4作品の作家は、大町市内、国内、国外と様々で、色々な作品となっています。自分達の高校のルーツの校舎も見れるのでおすすめのひとつですね。女性には、大町温泉郷の旧酒の博物館を会場にした作品がおすすめです。そこは、光を使った影絵や竹を素材として大町の自然を表現するようなサウンドオブジェを展示しており、先行公開した際、市内の人にとっても評判が良かったです。特に女性の評判が良かったので、ぜひそこを見てほしいなと思います。

Q. 芸術祭をはじめた目的は何ですか

多くの人に大町の魅力を知ってもらうために、芸術のパワーを使って大町をアピールしていくことです。大町を多くの人に知ってもらう。芸術祭をきっかけに何度も大町に来てもらう。あわよくばこれをきっかけに大町に住んでもらう！（笑）そんなことを目的に行っています。

Q. 芸術祭を通してやりがいを感じることはありますか

大町の人は「大町っていいところですよ。」と言われると、「ここなんにもないです。」とか否定する人が多いんです。でも、「何言ってるんですか、山も綺麗だし。」という話を聞いているうちに、「いいところですよ。」と言えるようになります。それが逆に来てくれる人に対するおもてなしの心になると思うし、地元の人もやりがいを感じる瞬間かなと思いますね。



芸術祭の可愛い商品もたくさん！



Profile

田中 久登さん

1965年大町市生まれ。大町高等学校卒業。卒業後すぐに市役所入庁。今年度から総務部参事となり、芸術祭に関わるようになる。

INFORMATION

北アルプス国際芸術祭実行委員会事務局 (まちづくり団体)

〒 大町市大町3887番地(大町市役所内)

☎ 0261-22-0420

HP <https://shinano-omachi.jp>



駅前にある芸術作品

Q. 2031年の目標は何ですか

10年後でしょう？ 10年後は65歳。個人的なことだったら、10年後も体を動かしてスポーツのできるおじいさんになりたいなと思います。

〈撮影：竹内 陽菜 竹村 航平 小林 咲希〉

MEMO

私は今まで、大町をもっと活性化させるために何かやってることはあるのか？という疑問を持っていました。ですが、田中さんの芸術祭に対する思いを聞き、大町の活性化のためにこんなにも頑張ってくれる人が沢山いるんだなと思いました。自分の住む街が芸術祭を通してもっといい町になってほしいなと感じました。

(取材：竹内 陽菜)

表具 喜 楽 堂

80年続くお店、3代目の挑戦

信濃大町100人衆 36人目

大町市商店街連合会副会長
喜楽堂インテリア工房有限会社 代表取締役
にしざわ たか ぼ

西澤 和保さん

歴史ある喜楽堂の外観

Q. 商店街の本通りよりも裏通りの方がお店が多いのはなぜですか

人通りが多いとマーケットとして成立しやすい一方で、家賃が高いなどのデメリットがあります。逆に、裏通りは成立しづらいが、家賃が安い、静かななどのメリットがあるので、喫茶店のような静かな場所を求める方には、条件が合うこともあります。条件があっても専門的なお店や喫茶店などは少し入った裏通りの方が商売しやすいので多いのかもしれませんが。

Q. 商店街の本通りのお店が少ないのはなぜですか

お店というのは売り上げが少なくなり、商売として成り立たないと考えると、世代交代などをきっかけにお店を廃業されてしまいます。すると、徐々に商店街からお店が消えていき、シャッター街と言われるようになります。そういう状態では人が歩かなくなるので、それが理由かなと思います。

Q. 仕事をしていて大変だったことはありますか

どんな商売でも大変な部分はあると思います。しかし、困った部分と、大変な部分というのは少し私の中では違うと考えています。困った部分は誰かに

助けてもらいながら解決していけばいいと思います。ですが、大変な部分は方法を考えて解決しようという気持ちでやっていくので日々大変です。

Q. 私たちのような学生に伝えたいことはありますか

私は高校を出てすぐに修行のために東京に就職しましたが、大町を自分たちが住みたいと思える街にしていきたいと思う気持ちがあり戻ってきました。皆さんには地域の良さや、地域をよく知ってもらい、郷土を愛してもらいたいと思います。

Q. 大町で就職することについてどう思いますか

大町で生活していると感じますが、移動するのに時間がかかる、遊び場や買い物をする場所が少なく欲しいものが近隣にはないなど不満点もあると思います。ですが、ネットで商品を買うことができる時代になり、これらの不満点も改善されてきているので、大町のような環境のいい場所で仕事をするができる時代になってきていると思います。今の大町は商売を自分で始められる環境になっているので、皆さんの世代にはぜひ新しい商売を生み出してほしいですね。

MEMO

大町には商店街があるのになぜビッグやカインズホームを使うのかわからなかった。聞いてみたら今の世の中の動きに合わせて変わっていることが分かった。でも自分はやっぱり大町の商店は活性化してほしいと思った。
(取材：竹村 航平)



和保さんの仕事道具

Q. 2031年の目標は何ですか

地域の中で後継者を探しながら同じ業態の方々と連帯、合併や企業を集約するような取り組みもあるので、喜楽堂も含めた市内の企業の後継者問題がどうなるかわかりませんが、地域に貢献できる部分では貢献したいと思っています。



Profile

西澤 和保さん

1967年大町市生まれ。
大町高等学校卒業後、
修行のため東京で就職。
数年後大町に戻り、喜
楽堂を継ぐ。

INFORMATION

喜楽堂インテリア工房有限会社
(室内装飾・表具)

住 大町市大町3326番地(高見町)

☎ 0261-22-1244

営 8:30~17:30

休 土・日曜・祝日

実は今どき?!

伝統的かつ現代的なアート

信濃大町100人衆 37人目

木匠安曇野工房 木彫講師

ち く に ゆ み

千國 由美さん

木がふんだんに使われた入口

Q. 作品作りのなかで一番楽しいことは何ですか

木彫りをしているときは、楽しくて時間を忘れてしまいます。リフレッシュができることと、頭の中にある形がどんどんできていくのが楽しいです。また、木彫りは大きな失敗をしなければ修正でき、作品につながっていくのでそれもとても楽しいです。

Q. 今までで一番大変だったことは何ですか

展覧会に出す作品は、数ヶ月かけて作るのですが、子育ての時間と両立しなければならないこともあり、作品を作るための時間がなかなか取れなかったことが大変でした。子供が小さかった頃は名古屋に住んでいたの、作品を担いで名古屋と大町を行ったり来たりして工房で作業をし、名古屋に帰ってから自宅で作業をしてという風に作品を仕上げていったことも大変でした。

Q. 作品のイメージと名前の決め方はどのようにしていますか

人それぞれなのですが、私は最初テーマを決めていません。絵を描きながらイメージを作り、それを頭で膨らませながら彫っていきます。作品名は出来上がった作品から湧いてくるものを感じ取ってつけています。私の場合は生命に関係してくるものが多い気がします。



細かく掘られた木の皿

Q. 一日平均どのくらいの時間作業をしていますか

木彫教室がある日は半日、教室がない日は丸一日作業をしています。忙しいときは工房で作業をした後、家に帰ってから夕食後などに作業を進めることもあります。

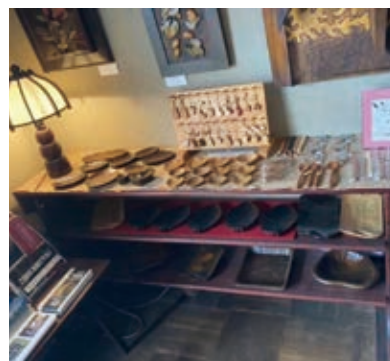
Q. 作品にかかる時間はどのくらいですか

作品には大きなものから小さなものまでありますが、展覧会などに出すような大きな作品は、作るのに3~6ヶ月かかります。小さなものだと数時間から一週間ほどで出来るものもあります。その作品の内容や大きさによってかかる時間は違います。



Q. 2031年の目標は何ですか

今と変わらず木彫りをして元気に楽しく過ごしていきたいです。



店内には沢山の商品や作品が!



Profile

千國 由美さん

1968年大町市生まれ。大町高等学校卒業。日本体育大学女子短期大学卒業。27歳で父に弟子入りし現在に至る。長野県展、現代工芸美術展入選を経て、2021年、日展に初入選。

INFORMATION

木匠安曇野工房 (木彫ギャラリー)

住 大町市大町2230 (大黒町)

☎ 0261-22-0926

営 9:00~17:30

休 日曜

MEMO

鮭を喰ったクマのイメージが強い木彫りですが、実はピアスなどのアクセサリや動物のキーホルダーなどもありとても興味深かったです。売り物の中には最近はやりのアマビエ様の姿も。由美さんの木彫りに対する思いや情熱は見習うべきところばかりでとても勉強になりました。(取材: 今野 晏奈)

〈撮影: 曽根原 真夕〉

みんなの今と2031

私たちがインタビューしました！

2031年の目標は？

質問に答えてもらいました！



曽根原 真夕

Mayu Sonehara

お金をたくさん稼いで、自分のやりたいことをいっばいやって、楽しく、充実した生活を送りたいです。あと、好きなアーティストに会いたいです。



富山 嶺音

Reon Tomiyama

しっかりお金を稼いで自分のやりたいことに尽くしたいです。また、1人暮らしをして、自分で何でもできるようになりたいです。



宮崎 詠未

Eimi Miyazaki

グラフィックデザインについてたくさんの知識を身につけて、多くの人の心をつかむことのできるグラフィックデザイナーになりたいです。



馬場 遊楽

Yura Baba

自分が好きなことで、人を喜ばせる仕事ができたらいいなと思います。安定した収入のある、とっても優しい人と結婚して、子どもを産んで楽しく生活したいです。



竹村 航平

Kohei Takemura

IT系の仕事をしたいです。その仕事で良い立場になりたいです。バレーボールもやっているんで、少しでもバレーボールに携わってほしいです。



倉本 彪雅

Hyuga Kuramoto

将来の夢を叶えて、その仕事で活躍して、たくさんお金を稼いで、楽しく元気に過ごしていきたいです。



舟木 捷

Hayato Funaki

社会に出て、自分の稼ぎで自立していけるようになり、自分のやりたいことに向かって進んで、社会に貢献していけるような大人になりたいです。



小林 咲希

Saki Kobayashi

勉強を頑張り、小さい頃からの夢を叶えていきたいです。そして、夢だった職に就き、安定した家庭をもち、楽しく過ごしていきたいです。



竹内 陽菜
Hina Takeuchi

小さい頃からの夢を叶え、幸せな家庭を築いてたいです。また、20代でしかできないことをたくさん体験したいです。



降幡 咲希
Saki Furuhashi

社会の一員として、立派な大人になりたいです。そして、素敵な家庭をもって家族を大切に、幸せになりたいです。



新井 麻弥
Maya Arai

自分の仕事を通じて、関わった人全員を笑顔にできるようにしたいです。その中で素敵な人と出会って、結婚したいです。親孝行できるように頑張りたいです。



小穴 ひかる
Hikaru Oana

将来の夢を叶えるために、今一生懸命勉強をして資格をとれるように頑張りたいです。一人暮らしをできるように今から自立できるように頑張りたいです。



今野 晏奈
Anna Konno

いい感じのところで就職して、安定して家を買って、結婚して子どもを産んで専業主婦になりたいです。そこそ貯金もあればうれしいです。



上條 優
Yu Kamijo

自分の就きたい職業に就き、充実した生活を送りたいです。また、色々な国に行って多くの知識や情報を身につけていきたいです。



原田 将希
Masaki Harada

自分の目標である公務員になっていっぱいお金を稼いで、自分の好きなように生活して、いっぱい遊んで、幸せに過ごせればいいなと思います。



今井 涼介
Ryosuke Imai

自分の夢のプログラマーになって、自分の好きなことを活かして自由に生きていくぐらいお金を稼いでいたいです。



遠藤 心
Kokoro Endo

今夢である動物系の職業に就いているか、それについての勉強をしたいです。あわよくば、しっかりお金を稼いで、たくさんの猫と暮らしたいです。

本プロジェクトは国土交通省「令和三年度官民連携まちなか再生推進事業」に採択されています。

■協力：稲澤 そし恵、稲澤 博（美麻オリザ編集工房）
高橋 和也（エイブルデザイン）
征矢 悠、佐久間 圭子、倉根 明徳（UDC信州）

■担当教員：田中 俊博、今井 芳史（大町岳陽高等学校教員）

■メンター（大町市職員）：塩野 瑠珠、足立 匠、伏見 雄貴、泉水 久乃、佐藤 洋平、北澤 未来、金子 奈央、畠山 拓斗、多田 晴彦、関本 景香

■アドバイザー：新 雄太（東京大学）





大町岳陽高等学校 地域探究プロジェクト2021
信濃大町100人衆インタビュー Vol.2

～高校生の創った地域人紹介ブックレット～

発行／令和4年2月 長野県大町市
〒398-8601 長野県大町市大町3887 ☎0261-22-0420
印刷・製本／有限会社 北辰印刷

国土交通省「令和三年度官民連携まちなか再生推進事業」

▶ これまでの活動を紹介しています

[https://www.city.omachi.nagano.jp/00011000/
kanminrenkei/hyakuninsyukaigi.html](https://www.city.omachi.nagano.jp/00011000/kanminrenkei/hyakuninsyukaigi.html)

